

中高科へのヒント 10~12月

10/1

●話し合ってみよう

- ・神様に「一つだけ願いをかなえてあげよう」と言われたら、何と答えますか。→ 長寿、お金、友だち、成績アップ、その他いろいろ。
- ・あなたの願いは、ほんとうに必要なものでしょうか。→ もっと大切なものがあるのかも。

●考えてみよう。

- ・ソロモンは何を望んででしょうか。→ 神様からの知恵（3・9）。
- ・「遊女の訴え」（16～22）に、あなただったらどうしますか。→ 相手にしない。二人で相談させて決める。二人とも牢屋に入れて、本当のことを言うまで出さない。その他いろいろ。
- ・あなたが考えた方法で解決がつかますか。→ 無理です。
- ・今日の「遊女のさばき」の場面（23～28）で、神様からの知恵と思えることはどこですか。→ 母親の心を知って裁いたこと。判決を聞いて納得し「皆王を恐れた」（28）ことです。

●自分に当てはめよう

- ・神様から与えられる知恵は、私たちが罪や誘惑に負けないで、主を信じて正しく生きる知恵です。それはどこにあるのでしょうか。→ 主イエス・キリスト（マタイ12・42、Iコリント1・30）。
- ・神様からの知恵が与えられるように祈りましょう（ヤコブ1・5）。

10/8

●話し合ってみよう

- ・「自分自身は頼りになる」と自分のことを思っていますか。→ はい。いいえ。わからない。
- ・「はい」と思う人は、大敵（苦難、病気、死）などの時、どうしますか。→ 大ピンチ。

●考えてみてみよう。

- ・アサ王は大ピンチ（圧倒的な敵の侵略）の時、何をしましたか。→ 神様に祈りました（11）。
- ・なぜ、神様に祈ったのでしょうか。→ 自分の力では勝利できないから。自分の弱さを素直に認める人は、神様に祈ります。
- ・神様は頼りになるのでしょうか。→ 暗唱聖句。
天地創造の生ける神様を信頼することほど確かなことはありません（聖書講解参照）。
- ・神様に祈った結果、どうになりましたか。→ 圧倒的な勝利を得ました。「主と主の軍勢の前に撃ち破られた」（13）。

●自分に当てはめよう

- ・自分の弱さを認めることは恥ずかしいことですか。→ そうではなく、神様を信頼するチャンスです。
- ・神様は信頼できますか。→ 自分が小さく弱くても、神様にとって力を与え、助けることには、かわりはありません。
- ・神様に祈って、助けていただいた経験を話し合ってみましょう。また今、困難の中にある人のために共に信仰をもって祈りましょう。

10/15

●話し合ってみよう

- ・どんな歌が好きですか。→ いろいろなジャンルがあると思います。
- ・教会で歌う「賛美」の中に好きな歌はありますか。その理由は？ → みんなで話してみましょう。

●考えてみよう

- ・「賛美」にはどんな効果があると思いますか。→ 今日の聖書箇所
- ・大軍が攻めて来た時、何をしましたか。→ 大軍に勝つことができないので、皆主の前で祈りました（12～13）。
- ・ヤハジエルは「気合、根性で勝て」と言いましたか。→ 主が戦ってくださいます（暗唱聖句）。
- ・主が戦ってくださることを信じて何をしましたか。→ 軍勢の前に、聖歌隊が賛美をして前進しました（21～22）。
- ・その結果どうになりましたか。→ 敵が同士打ちしたので、勝利することができました（22）。

●自分に当てはめよう

- ・困難な時に一人で祈るだけではなく、家族や信仰の友と祈ってみましょう。祈りは聞かれます。
- ・困難な時に、「賛美」を歌うと、不思議に、主が共にいてくださることの確信が与えられ、力が与えられます。一人でも、皆一緒でも、賛美しましょう。

10/22

●話し合ってみよう

- ・あなたは侮辱されたことがありますか。その時、どう感じましたか。→ 悲しかった。怒った。
- ・「信仰」のことで侮辱されたことがありますか。その時、どう感じましたか。→ 辛かった。信仰を止めようと思った。祈った。

●考えてみよう

- ・ヒゼキヤ王の聞いた敵の言葉はどういう内容ですか。→ 主なる神様が侮辱され、無条件降伏を迫られました(18・28～35)。
- ・その時、どうしましたか。→ 主の宮に入って祈りました(1)。
- ・ヒゼキヤ王はどのように祈りましたか。→ 侮辱された手紙を広げて、主の前に祈りました。
- ・ヒゼキヤ王は何を信頼して祈りましたか。→ 天地万物を創造された生ける神様は、必ずわれわれを救い出してください(15～19)。
- ・祈りの結果はどうになりましたか。→ 主の使いによって圧倒的な勝利を得ました(35)。

●自分に当てはめよう

- ・世の中には、神様を否定し、信仰は無意味と侮辱する人がいます。しかし、ヒゼキヤ王のように、苦難の時、侮辱を受けた時、「ありのまま」祈る時に、神様は必ず応え、助けてくださいます。
- ・「主を信じていること」「祈ること」は一見「弱い」ように見えますが、主は人の力を超える圧倒的な力をもって守ってくださいます。

10/29

●話し合ってみよう。

- ・中高生時代はどんな時と思いますか。→ おもしろいことや楽しいことをすれば良い。人生の大切な時だから、間違わないように生きたい。あまり考えたことがない。
- ・暗唱聖句「右にも左にも曲がらなかった」とは、どんなことだと思いますか。→ 本日の聖書箇所。

●考えてみよう

- ・ヨシヤ王は、父も祖父も神様を信じない王様でしたが、信仰を持ちました。どうして信仰を回復したのでしょうか(ヒント11節)。→ 神様の言葉である律法の書が発見された時、真剣に神様の言葉を聞いたことです。私たちも聖書の言葉をなおざりにしないようにしましょう。
- ・律法の書を読んで、衣を裂いたのはどうしてでしょうか。→ 自分の先祖や自分自身が、罪を犯して、神様の怒りを受けるような者であることがわかったからです(13)。
- ・自分たちの罪がわかったならば、どうすればよいのでしょうか。→ 自分の罪を認めて、主の前に悔い改めることです(19)。主イエスの十字架の血潮を信じて、罪を告白し、罪の赦しをいただくことです。

●自分に当てはめよう

- ・「右にも左にも曲がらない」秘訣は何でしょうか。→ 神様の言葉を聞き、罪を悔い改め、主に従うことです。

11/5

●話し合ってみよう

- ・態度をはっきりしない「どっちつかず」の時がありますか。
- ・信仰の「どっちつかず」はよいことでしょうか。

●考えてみよう。

- ・イスラエルの民は「どっちつかず」でした(21)。どうしてでしょうか。→ アハブ王が怖いから「主を信じる」とは言えないし、本来主を信じる民なので「バアルが神」と言うのも抵抗があるから。
- ・エリヤは民に何を迫りましたか。→ 「主が神様ならばそれに従いなさい」(21)とはっきりするように迫りました。
- ・エリヤは祭壇に水をかけました。どうしてそんなことをしたのでしょうか。→ 偶像の神は何もできませんが、本当の生ける神様は必ず応えてくださることを確信していたからです。そして火は下りました(38)。本当の神様は主であるという証拠になり、民は主を信じました(39)。

●自分に当てはめよう

- ・教会には習慣として来ているから、クリスチャン・ホームだから、ではなくて自分の信仰を決断して持ちましょう。
- ・友だちや他の人から、信仰に対しての無視や反対や迫害があっても、エリヤのように一人ぼっちと感じても、主が助けてくださいます。

11/12

●話し合ってみよう

- ・信仰を持った後で、困難なこと、八方ふさがりのことがありましたか。→体験談を聞いてみる。
- ・その時、どうしましたか。→その時は信仰から離れてしまいました。真剣に祈りました。

●考えてみよう。

- ・神様を信じる預言者の家族に悲劇が訪れました。どんなことでしょうか。→夫が死に、生活できなくなり、子どもが奴隷に売られようとしています（1）。
- ・こんな時、あなただったらどうしているでしょうか。→途方に暮れてあきらめています。
- ・エリシャは「隣の人々から器を借りてきなさい」と命じました。あなただったらどう思いますか。→こんな苦しい時に、こんなことをして何になるのかとエリヤに問い詰め、納得できるまで、言うことを聞きません。
- ・母親と子どもたちはどうしましたか。→素直にエリヤの言葉どおりに器を集めてきました（5～7）。このような信仰に、神様は神様の業をなされます。そして負債を返すことができました。

●自分に当てはめよう

- ・困難の時こそ、八方ふさがりの時こそ、信仰を持つチャンスです。
- ・エリシャのように、祈り、助けてくださる人を主は備えてくださっています。牧師先生、教会学校の先生、信仰の友、家族と共に祈りましょう。

11/19

●話し合ってみよう

- ・今日は「人間の骨」の話です。人の骨は「火葬場」で見ます。何か感じますか。→人間の死の厳粛な事実。絶望。悲しみ（近親者を亡くした生徒などがいた場合は、この話題には配慮してください）。
- ・人は絶望のままで、生涯を閉じてしまうのでしょうか。→今日の聖書の個所には絶望を超える希望があります。

●考えてみよう

- ・エゼキエルは「はなはだ多くの骨」の幻を見ました（2）。何を意味していますか。→死、絶望（詳細は研究資料、聖書講解）。
- ・「これらの骨は生き返ることができるのか」と聞かれています。どのように答えますか。→あり得ない。
- ・エゼキエルは「主なる神よ、あなたがご存じです」と答えました。どういう意味ですか。→人間には無理。しかし、骨に命を与え生かすことのできる神様であること。そして主の言葉どおりに、生き返りました（10）。

●自分に当てはめよう

- ・絶望と死の恐怖に打ちのめされている人に、希望と生きる力を与えてくださるお方が私たちの信じる神様です。
- ・「息」は「わが霊」、聖霊のことです。聖霊に満たされることを祈りましょう。

11/26

●話し合ってみよう

- ・本日は収穫感謝の日です。「人生の収穫」は何だと思えますか。→長寿。金持ちになる。楽しく生きる。有名な人になる。その他いろいろ。
- ・それも「人生の収穫」の一つです。もっとすばらしい収穫があるのです。→本日の聖書個所。

●考えてみよう

- ・詩篇126篇での喜びとは何でしょうか。→バビロン捕囚からの帰還（詳細は研究資料、聖書講解）。私たちにとっては、主イエスを信じて、主と共に歩む生涯を送っていることです。この喜びを失わないようにしましょう。
- ・詩篇126篇での、「祈り」（4）とは何でしょうか。→まだ、祖国に帰らない人がいることと、祖国に帰っても信仰を回復しない人がいたので祈っているのです。私たちにとっては、まだ主イエスを信じない家族や友だちがいることと、教会を離れた人がいることです。その人たちのために祈っていますか。
- ・「涙を流して出て行く」とありますが何を意味していますか。→伝道をすることや教会に誘うことは、困難をとまなうこともあります。しかし、主は必ず報いてくださいます。

●自分に当てはめよう

- ・本当の「人生の収穫」は、「私」の存在を通して、主を信じ、教会に帰ってくる人が起こされることです。祈り、出て行き、収穫の喜びを得ましょう。

12/3

●話し合ってみよう

・アドベント（待降節）に入りました。今年も主イエス様のご降誕を心から待ち望みましょう。

●考えてみよう。

- ・クリスマスのキャンドル・サービスでは、ろうそくを灯して集会をしています。「やみに輝く光」の意味がよくわかりますね。→ 暗唱聖句を読みましょう。
- ・「やみ」（5）とは何ですか。→ 神様を信じないで罪を犯しているこの世のことです。
- ・「やみ」（5）から解放されるためにはどうしたらよいでしょう。→ 光に照らされることです（5、9）。主イエス様を受け入れることです。
- ・「光」とは誰のことですか。→ 主イエス・キリストのことです。天地創造の神、三位一体の神、この世に來られた神様（詳細は研究資料、聖書講解）。
- ・全ての人のためにこの世に來られた主イエス様を全ての人が受け入れましたか。→ いいえ。

●自分に当てはめよう

- ・やみの中か、光の中にいるのか点検してみましょう（Iヨハネ1・6）。光の中を歩むために主イエス様が來られました（Iヨハネ1・7、9）。
- ・この世に光として來られた主イエス・キリストを知らない家族や友だちを、クリスマスの集会などに誘ってみましょう。

12/10

●話し合ってみよう

・「飼葉おけの中に寝かされた主イエス様」は未信者の人も知っている有名な場面です。今日は、その意味（意義）を考えてみましょう。

●考えてみよう。

- ・皇帝アウグスト、クレニオという人の名前や、人口調査のことは、何のために書いたのでしょうか。→ 主イエス様の誕生は、作り話ではなく、歴史の事実であるということの証明のために（詳細は研究資料、聖書講解）。
- ・ヨセフとマリヤは、なぜベツレヘムに行ったのでしょうか。→ 人口調査の登録のために故郷に帰りました。そして、それは預言の成就のためです。
- ・主イエス様はなぜ「飼葉おけ」に寝かされなければならなかったのでしょうか。→ 「客間には彼らのいる余地がなかったからである」（6）。人はこの世に來られた救い主イエス様を無視し、排除してしまっています。ここに人の罪を見ます。

●自分に当てはめよう

- ・クリスマスは歴史の事実であることを確認し、信じましょう。そして世の人に大胆に伝えましょう。
- ・主イエス様を飼葉おけに追いやっているようなことはないでしょうか。罪を悔い改め、主イエス様を迎えましょう。

12/17

●話し合ってみよう

・「野原の羊飼いたちと天使の大合唱」もよく知られています。その意味（意義）を考えてみましょう。

●考えてみよう

- ・「主イエス・キリストのご降誕」の第一報はだれに伝えられたのでしょうか。→ 羊飼いたち。
- ・有名な人、権力者に伝えた方が、救い主誕生のニュースが広がったのではないのでしょうか。→ 神様の前にへりくだり、心から主イエス様を受け入れる者が、羊飼いたちでした。
- ・暗唱聖句は、「（いつ）きょう、（どこで）ダビデの町に、（何のために）あなたがたのために、（だれが）救主が、（どうした）お生まれになった」（11）とあります。歴史の事実として伝えています。
- ・「天使の大合唱」は何を意味していますか。→ 何もなくても、顧みられない者であっても、主イエス様のご降誕の意味を知る時、心からの賛美と喜びに満ちあふれることです。
- ・羊飼いたちは、天使の告げられたことを聞いてどうしましたか。→ ベツレヘムに向かいました。主イエス様の所にまで行かなければクリスマスの意味はありません。

●自分に当てはめよう

- ・私のような者のために、主イエス様のご降誕されたことに感謝をささげましょう。
- ・主イエス様を心に迎えるクリスマスにしましょう。

12/24

●話し合ってみよう

・「東からきた博士たちの来訪」は、クリスマス・カードによく描かれている場面です。その意味（意義）を考えてみましょう。

●考えてみよう

- ・遠い旅をしてきた博士たちの来訪から何を学ぶことができますか。→ どんなに困難なことがあっても、救い主を求める熱心な心です。
- ・ヘロデ王の態度から何を感じますか。→ 自分の王座を失いたくないので、幼な子の主イエスを殺すことを考えました。自己中心的な傲慢な罪。
- ・祭司長や律法学者たちから何を感じますか。→ 聖書の預言を知っていながら、主イエスを受け入れないかたくなな心。
- ・最後に、博士たちのささげた贈り物は何を表していますか。→ 主イエスを礼拝すること（詳細は聖書講解、研究資料）。

●自分に当てはめよう

- ・今日の聖書個所に、自分の姿はありませんか。
傲慢なヘロデ王。知識はあっても信仰がない祭司長、律法学者。このような心であれば、クリスマスは単なる行事で終わってしまいます。
- ・どんなに遠くても、困難であっても、主イエスの所まで来た博士たちのように、熱心に主を求めましょう。
- ・主イエス様に真心からの礼拝をささげましょう。

12/31

●話し合ってみよう

・今日で2006年は終わります。この年はどのような年でしたか。みんなで感想を述べてみましょう。
・クリスマス行事は終わりましたが、クリスマスの恵みは続いています。今日の聖書個所は幼子の主イエス様に会った人のお話です。

●考えてみよう

- ・たくさんの人が宮にいるはずなのに、主イエスを認めた人は二人だけでした。シメオンはどのような人でしたか。→ 正しい信仰深い人、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた人、聖霊が宿っていた人です。
- ・アンナはどんな人でしたか。→ 宮にいて、断食をし、祈り、神様に仕えていた人です。
- ・この二人から何を学びますか。→ 心の目が開かれ、神様の言葉を大切にし、主に希望を持つ者は、主にお会いすることができることです。

●自分に当てはめよう

- ・今年一年間の私たちの信仰生活を振り返ってみた時に、シメオンやアンナのような信仰を持ちながら生活していたでしょうか。
- ・もし、宮にいた大勢の無関心な人のようであれば、主の前に悔い改めて、新しい心をもって、新年を迎えましょう。